

### 選手直前インタビュー 俺の出番だ!!



川崎 健次 (神奈川/88期)

(3月高知の落車で)1カ月くらい松葉杖でした。でも、走って戻さないと思って。早めに復帰しました。1着も取れてきたし、徐々に治ってきていますね。今はトレーニングができるようになって、その疲れが出てきている。でも、これから疲れが抜けてくると思うので我慢して。地元記念は仕上げで臨みます。



桐山 敬太郎 (神奈川/88期)

今年に入ったくらいから手応えを感じていました。ダービーは仕上げたけど残念な結果で。そこから調子が落ちたのは感じたけど、前に比べて下まで落ちなくなった。悪くてもまとめられている。より効率の良い乗り方とかを考えながら走っているからかな。もちろん小田原は優勝できるように。それしか考えていない。

小原 唯志 (茨城/101期)

前期のA級戦は5回の完全Vを達成。特別昇級は果たせなかったものの、実力の違いを見せ付けると、S級復帰の今期は7月伊東でいきなり3連勝を飾った。師匠の武田豊と一緒に今節は気合倍増で目が離せない。



新井 秀明 (熊本/85期)

今期は4年ぶりにS2班に落ちたが、7月伊東3②②着、同月弥彦記念1⑨①⑥着と好成績で、差し脚は冴え渡っている。今の伸びなら上位戦でもしっかりした目標があるときは連がらみが期待できる。



松本 貴治 (愛媛/111期)

将来性あるヤングレーサー。4月川崎記念で優参を果たすと、6月取手GⅢ、7月小松島記念は準決に駒を進めている。グレードレースでも十分に通用する機動力があるので、今節も決勝進出が期待される。

## S級ブロックセブン

8/28 (最終日) 6R

ブロックセブンとは

「推理しやすい、わかりやすい、的中しやすい」をコンセプトにした、競輪独特の「地区」の色合いをより濃く打ち出したS級7車立ての新たな単発レース。

8月松戸記念を2①⑧①着など窓場千加頼の充実ぶりも見逃せない。最近はまだ目立つが、ハマった時の切れなら鈴木にも引けを取らない。東矢昇太は混戦を誘って、東勢のペースを崩していけるかどうか。

本来の脚勢を取り戻した鈴木竜士が人気に応える。7月弥彦記念⑥②①⑥着での鈴木は関東ラインの核弾頭として、地元諸橋愛をVに導く快走を披露。続く8月小松島も決勝は3着ながら、山崎賢の反撃を合わせ切ったレースを支配した走りは見事だった。当所は得意走路だし、持ち味のダッシュを生かした先行基本の走りでも寄せ付けまい。鈴木の本番は望月永悟か。落車続きの悪い流れをワンツー決着で払拭したいところ。

勢いある

鈴木竜士が主役



鈴木 竜士